

やさいづくり同好会だより

平成24年11月7日

やさいづくり同好会2年目の今年も、1年生から6年生までの児童約70人が、いろいろな野菜を育てています。春から夏にかけては、スイカ、ミニトマト、ナス、キュウリ、ジャガイモ、枝豆、ピーマンを育て、夏休みには“夏のつどい”を行い、農園の草むしりと収穫した野菜をみんなで食べました。9月には、子ども達が大根の種をまきました。今、農園では白い大根が土から顔をのぞかせて、大きく葉をひろげています。成長が楽しみです。

PTAふれあい祭りに出店

今年もやさいづくり同好会は、PTAふれあい祭りで、農園で収穫した野菜の販売と、収穫したサツマイモを使って『さつまいも入り蒸しパン』を作り販売しました。

蒸しパン作り担当の児童は、朝8時30分から家庭科室で調理を開始。約150個のさつまいも入り蒸しパンを作りました。

販売担当の児童は、大きな声で呼び込みをしたり、売り歩きに出かけたりと、とても生き生きと楽しそうに活動していました。

お陰様で、10時の開店から40分で完売することができました。

売り上げは、22250円になりました。売り上げの使い道は、子ども達と相談して
①校内の緑を増やすための苗代
②相川保育所にお花をとどける（プランターに花を植えて）
③東日本大震災関係の義援金に決められました。



野菜や蒸しパンを買ってくださったみなさん
ありがとうございました。

秋から冬の農園

やさいづくり同好会の畑や農園の周囲に、大根・かぶ・春菊・ほうれんそう・水菜・ラディッシュのたねをまきました。少しずつ成長しています。

大根は、昨年同様におでんをつくり、給食の時間に全校で食べたり、干してたくあんにします。できあがったたくあんは、来年2月の相川公民館祭りで販売する予定です。

TAKU-1グランプリ

今年の3月に、公民館祭りで味噌とたくあんを販売した売り上げを『森は海の恋人』代表で、国連からフォレストヒーローズ賞を受賞した畠山重篤さんに寄付をした新聞記事を読んだ、T-1グランプリ実行委員会の方から電話があり、2013年1月に開催されるTAKU-1グランプリへの出場の話がありました。

現在、書類審査中で書類審査を通過すると決勝大会に出場できます。

写真は、農園で育てている大根です。育てた大根でたくあんをつくらしている小学校は厚木市内では、戸田小だけです。



